

# 祖母の夢をつないだパン屋を復活させ創業が実現

エルハイナー永田(永田真季)(鳥取県)

5年前に相談者の祖母が自主廃業しており、今般再度、創業を希望しているパン屋。

## 1. 相談のきっかけ

相談者:永田真季代表は、過去の経歴として、東京・群馬・兵庫のパン屋で修業後、実家でパン屋を復活したいと思い立ち、創業するために、帰省した。

その後平成27年7月、倉吉市夜間ビジネス相談会(当拠点主催・倉吉市後援)にて、パン屋の創業準備に必要な事項に関して相談を実施した。

## 2. 課題整理・分析

パン屋での修行経験というノウハウは持っていたが、初めての創業であるため、課題は多岐にわたっていた。

### 【課題】

1. 商圈分析による顧客層や競合の調査
2. 円滑な創業手続きの実施
3. 店舗レイアウトの策定
4. 資金調達手段の確定と、金融機関との交渉。また、こうした交渉に向けた事業計画の策定も必要であった。

## 3. 解決策の提案

1. 商圈分析について  
当拠点の勉強会に参加してもらい、人口動態や競合出店状況などの商圈データの取得を提案。マーケティングの基礎となるターゲティング手法を助言。
2. 創業手続きについて  
行政と調整すべき事項を情報提供。
3. 店舗レイアウトについて  
顧客と従業員の動線を考慮したレイアウト設計にするよう助言。
3. 事業計画策定と資金調達について  
借入利息を低減させる制度活用を見越して、鳥取県中部商工会産業支援センター主催の「創業スクール」5回を受講するよう提案。その中で事業計画を策定し、資金調達先の選定方法について助言。

## 4. 成果

当拠点で創業にかかるトータルコーディネート支援を実施した結果、以下の成果があった。

○ 商圈分析を実施し、数値的な見通しも踏まえた事業計画をまとめることができた。

○ 作成した計画をもとに平成27年11月に金融機関や鳥取県信用保証協会に「創業資金」制度資金の借入手続きができた。狙いどおり3年間分の利息が返金される制度の活用も承認され、希望金額満額を借入することができた。

○ 効果的なレイアウトも設計でき、平成27年11月～12月に店舗工事を実施できた。

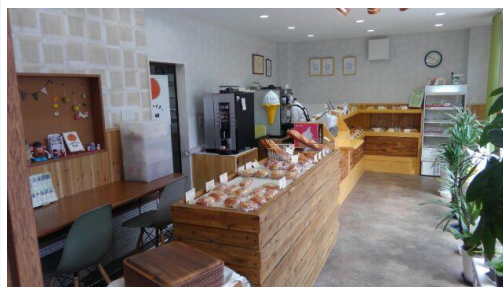
○ 創業手続きも円滑に進め、平成28年1月15日に、パン屋「エルハイナー永田」を倉吉市内にオープンした。5年前に祖母が廃業したパン屋の屋号を受け継ぎ、復活させることができた。

※ 当拠点と連携した支援機関

倉吉市、倉吉市立図書館、鳥取県中部商工会産業支援センター、鳥取県信用保証協会、倉吉信用金庫



<店舗外観>



<店内>